

警察官の増員 7年連続全国1

来年度政府予算案>県警察官300人を増員！

2006.12.23

県議会公明党が最も熱心に推進してきた課題の一つである埼玉県警の警察官が来年度から300人増員になることが12月22日、決まった。これで埼玉県警は7年連続の全国一の増員になる。以下、埼玉新聞に掲載された記事を紹介する。

2006.12.23 埼玉新聞

県警察官300人を増員 7年連続で全国最多！

来年度政府予算案の復活折衝が22日行われ、全国で警察官3千人の増員が認められた。県警には7年連続で全国最多となる300人を増やすことが決まった。ただ1997年度から10年間の特例措置として認められていた126人分の増員が解消されるため、定数は1万880人から1万1054人になる。

県警の増員は2001年度(400人)、02年度(380人)と毎年全国最多を記録し、本年度は330人の増員が図られていた。来年度の300人を含めると、7年間の増員数は計2425人に及び、特例措置解消に伴う126人の減少を差し引くと、実質では2299人の増員になった。

県内の今年4月の推計人口に基づくと、増員によって県内の警察官1人当たりの人口負担は649人(全国ワースト4位)から、639人(同6位)に軽減される見込み。

刑法犯認知件数の警察官1人当たりの負担は、増員によって14・43件から14・21件へと若干減少するが、全国平均(8・98件)を大きく上回り、負担率全国ワースト2位は変わらない見通し。

97年の特例措置は金融・不良債権関連事犯の対策のため、全国で1512人の警察官が増員されていたが、本年度が特例期限になっていた。